

やまぐちけんはつほんかくてきてづかおさむけんがてんらんかい  
**山口県初の本格的な手塚治虫の原画展覧会!** 『陽だまりの樹』を主題とした展覧会も本邦初!!

本年は、明治維新150周年と、「マンガの神様」と称えられる手塚治虫の生誕90周年とが重なります。この記念すべき年に、当館では明治維新150年記念特別展の第1弾として「手塚治虫が描いた明治維新」を開催し、手塚治虫が『陽だまりの樹』などの作品で描いた明治維新の世界観をふりかえります。

『陽だまりの樹』は、江戸から明治へというわが国の一大変革期を、全力で駆け抜けた若者たちの姿を描いた作品です。武士という滅びゆく生き方を貫こうと東奔西走する伊武谷万二郎。伝統医学と対抗しつつ近代医学の道を切り拓くために奮闘する手塚良庵。対象的な二人は、激動の時代を必死で生きたのです。

本展は、山口県では初めての手塚治虫の本格的展覧会であり、『陽だまりの樹』をメインとした初めての展覧会でもあります。手塚治虫の直筆のマンガ原稿とともに、作品中に見られるような医師の治療器具ほか、当館の収蔵資料も一緒に展示します。子供から大人まで幅広い世代に楽しんでいただける展覧会です。

**主人公は対照的な2人!  
伊武谷万二郎と手塚良庵**



「三百坂」より

**若き武士伊武谷万二郎は  
幕府を支えるべく奮闘!**



「天地鳴動」より

**医師の息子手塚良庵は  
オランダ医学の修業に精進!**



「七化けお紺」より

**手塚治虫は長州人たちも  
描いていた!**



「炎上」より

**マンガの神様手塚治虫は  
明治維新をどう描いたのか?**

